

移住・交流

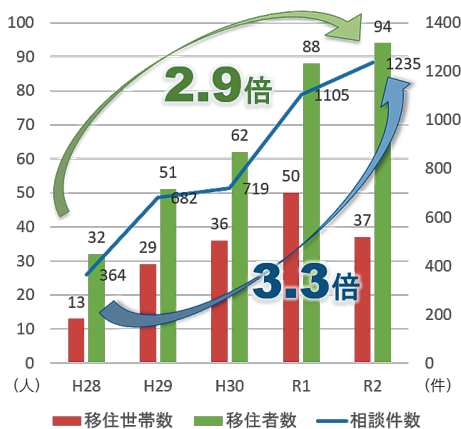
の

取り組み



市では平成28年度から、「移住・交流」を重点施策と位置づけ、県内初となる移住に関する専門部署を設置しました。以降、移住相談は毎年増加しており、5年間で延べ4,105件の相談があり、165世帯327人が伊賀市に移住されました。

相談件数と移住者数の推移（伊賀市）



【専門雑誌でも取り上げられています】
2021 年度版
全国 12 エリア別
「住みたい田舎ベストランキング」で
3 年連続三重県 1 位、
東海エリア 6 位



コロナ禍により、地方移住への関心はますます高まると見込まれています。昨年からは始まったオンライン相談では、訪問したかなくてもお互いの顔を見て話ができるため、安心感があると好評です。今後も丁寧な移住相談を行うとともに、移住した人が地域に溶け込み活躍できるようサポートを行います。

三重県の調べによると、令和2年度に県・市町の移住施策を利用した県外からの移住者は514人です。このうち175人が伊賀地域への移住で、県全体の約34%を占め、県内で最多となっています。いち早く移住・交流施策に取り組み、「移住コンシェルジュ」を設置したことで、移住相談件数が増加し、移住先に伊賀市が選ばれる結果につながっています。

●移住コンシェルジュの役割を 教えてください

移住を希望している人と伊賀市のさまざまな情報や人を繋いでいます。



移住相談にくる人は、移住先を限定せずに漠然と田舎暮らしを希望している人から、伊賀市に移住したいと決めている人まで、その人によって考えや状況はさまざまです。移住コンシェルジュは、住まいや仕事、子育て、自治会のことなど、移住に関する総合的な相談窓口としての役割を担っています。また、移住前のサポートだけではなく、移住後の不安解消も大切な仕事の一つです。「移住者交流会」の開催や、「移住交流通信」を発行し、移住者同士や地域

の人たちとの交流の場を提供しています。悩み事の解決や伊賀暮らしを楽しむヒントを得る機会として好評です。



移住者交流会

○コンシェルジュとして 心がけていることは？

特に大切にしているのは、相談者の「食・住・仕事」の生活基盤です。私たちの目的は、ただ移住者を増やすということではなく、移住した人が安心して定住することで、地域に新たな活力を生み、「住み続けたいまち」を実現することです。そのために、住まいなどの相談はもちろん、「どんな暮らしがしたいか」が明確になるように一人ひとりに寄り添いながらサポートすることを心がけています。

移住を希望する人の夢が、少しでも実現に近づくようお手伝いが出ると嬉しいです。



移住相談会

○移住者を受け入れる 市民の皆さんにメッセージ

移住は、その人と家族の人生を左右する大きな事です。移住を決断した理由をお聞きすると、「人の魅力」と言っていたことがあります。「家を探している時に近所の人が優しく声を掛けてくれたのが嬉しかった。」「農業体験に参加した時に地元の人と交流し、この地域に住みたいと思った。」などの声があります。

移住する人にとっても、受け入れる地域の人にとっても、同じように未知のことである不安もあると思います。もし、同じ地域や近くに移住してきた人がいたら、気軽に声を掛けていただくと嬉しいです。その一言から、少しずつお付き合いが始まればと思います。

移住した家族だけでは安心して暮らすことができません。地域の皆さんの理解と協力をいただきながらお互いに信頼しあえる関係を築き、活力のある地域をつくりあげていきたいと思います。

【問い合わせ】

地域づくり推進課

☎ 22・9680

FAX 22・9694

✉ chikidukuri@city.iga.lg.jp

